

プロジェクト課題No.1

土地利用型農業法人の早期経営安定

対 象：農事組合法人おさとファーム（涌谷町）
役員 5 名

計画期間：令和 3～4 年度（2 力年）



写真

小里集落（ほ場整備事業実施前に撮影）

農事組合法人おさとファーム

法人設立：令和元年9月

組合員：15名

役員：5名



【経営概要(令和3年)】

水稲 5.5ha (主食用米2.5ha, 飼料用米3.0ha)

大豆 11.9ha (事後転作6.6ha, 小麦収穫後5.0ha, その他0.3ha)

小麦 19.0ha (令和2年秋は種, 令和3年6月収穫)

【経営概要(令和4年)】

水稲 5.4ha (主食用米2.2ha, 飼料用米3.2ha)

大豆 23.0ha

▶ 課題の背景

- 地域の農地を守る組織としての活動はできているが、計画的な法人経営やコスト管理が行われておらず、法人が利益を生み出すための取組が不十分
- 法人のエリアでは、面工事は実施済みであるが、暗渠排水工事はこれからで、転作作物の収量が少ない
 - 法人として事業を継続していくために利益を生み出す体質づくりが必要

▶ 本プロジェクト課題の目指すところ

- ① 法人の経営計画が着実に実行され、
持続的な経営が可能になる
- ② 生産性の高い土地利用型作物生産が
行われ、法人経営が安定する

▶ 令和3年度活動事項

- ① 法人経営管理支援
- ② 転作作物の生産安定支援

▶ 令和4年度活動事項

- ① 法人経営管理技術向上支援
- ② 転作作物の栽培技術向上支援

令和3年度

①法人経営管理支援

1)法人会計勉強会(全3回)

- ・ 決算書の種類とその仕組み
- ・ 数値の読み方
- ・ 予算実績管理

2)資金繰り実績の検討

3)作付シミュレーション



写真

法人会計勉強会

令和2年度実績（（農）おさとファーム）

(単位：円)

A：月別資金繰り表

		9	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
収益	水稲売上高	90,909,099													
	販売売上高	999,990		9,999,000				9,099,999	9,999,999	90,999	999,000				
	作付助成収入	9,999,999						909,000		9,999,900		9,999,999	999,990		
	雑収入	9,999,999			99,099	9,900				90,999	9,999	99,900		90,999	
	一般助成収入(機械助成他)	99,999,000						99,099,000						900,000	
(固定資産圧縮損)	△ 99,999,000														
収益計		△ 99,999,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
製造原価	材料費	材料仕入高	999,099						999,099						
		種苗費	909,990										909,900		
		肥料費	9,990,990	9,990		99,900			9,999,990					999,990	
		農薬費	999,999						999,099					909,909	
	燃料費	999,999												999,999	
	諸材料費	99,999													
	労務費	90,999		999											
	経費	作業委託費	999,999			99,000			999,999		99,999			999,999	
		委託加工費	9,990,990								99,999				
		減価償却費	9,990,099												
		修繕費	99,990			9,900	99,990				9,990				
		租税公課	9,000												9,000
		農地賃借料	9,999,999							9,909,999	△ 999,999				
		共済掛金	999,999			990,999						999,999			
消耗品費	99,000								99,000						
農具費	999,900						999,000								
土地改良費	9,999,999							999,090	△ 999,099						
その他	99,999														
販売管理費	その他販売費	9,999													
	役員報酬	90,000												90,000	
	総会会議費	9,909		9,999	9,999					9,999					
	リース代	999,900	99,900	99,900	99,900	99,900	99,900	99,900	99,900	99,900	99,900	99,900	99,900	99,900	
	事務消耗品費	999								999					
	租税公課	99,900			900		90,900	9,900		9,000					
	備品消耗品費	0													
	管理諸費	990,900	99,999	99,999	99,999	99,999	99,999	99,999	99,999	99,999	99,999	99,999	99,999	99,999	
	諸会費	9,000				9,000									
	支払手数料	9,990		990											
雑費	99,999						90,990	99,999			99				
費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
利息、配当金調整	9														
法人税等	909,909														
当期純利益	0														

従事分量配当額	9,999,000													
(+)減価償却費														
(-)前期の税金		99,999												
(-)源泉徴収預り金										99,099				
(-)固定資産取得								99,909,900						
(+)借入金								99,990,000						
(-)借入金の返済										9,999,000				
(-)長期前払費用							999,009							
(-)ならし積立金				999,999										
(+)大豆仮精算											99,090			
(-)その他										9,099,999				
(-)仮払配当金							9,999,900			9,999,990				△ 99,999
(*)利息・配当金の受取						9						99		
(-)利息の支払												99		

(R9年度期首残高)	9月	9月	9月	9月	9月	9月	9月	9月	9月	9月	9月	9月	9月
999,999	預金の増加	0	9,999,000	99,099	9,909	9,099,999	99,999,999	90,999	9,909,999	99,900	9,999,999	999,990	90,999
	預金の減少	99,999	999,099	999,999	90,999	9,999,999	99,999,999	9,999,999	9,099,099	999,999	99,999	999,999	999,999
	月末の残高	999,999	9,999,999	9,999,999	9,099,909	9,999,999	9,999,999	9,999,900	9,999,909	9,999,099	9,999,999	9,999,999	9,909,999

資金繰り実績書

作付シミュレーション

おさとファーム R4小麦収支試算

品種：夏黄金

【適期播種 予想反収400kg/10a】

播種時期：10月中下旬

面積：2ha（飼料米後）

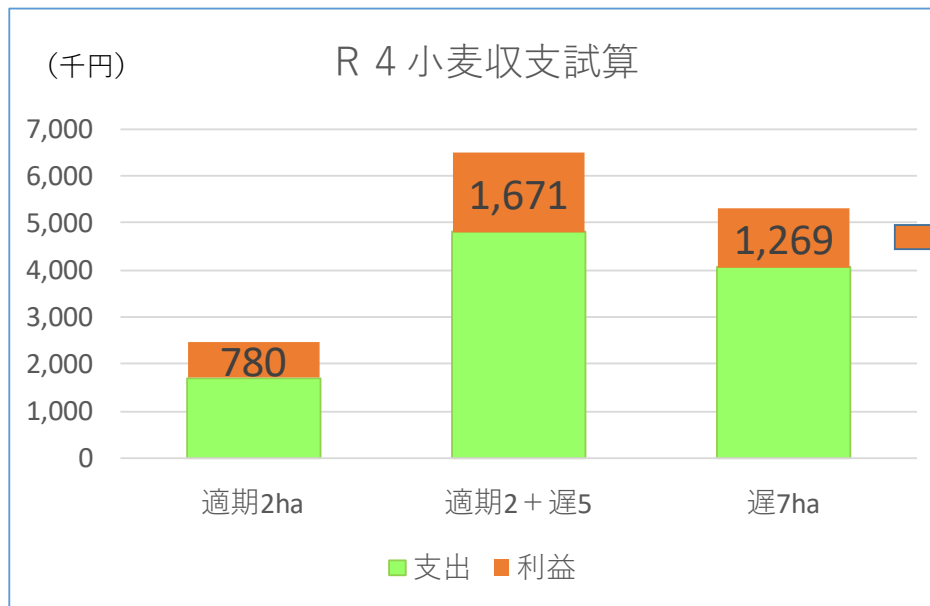
播種量：12kg/10a

【播種遅れ 予想反収200kg/10a】

播種時期：11月下旬

面積：5ha または 7ha（大豆後，稲後藁上げ遅れ）

播種量：17kg/10a



従事分量配当 円を
支払ったら、いくら残る？
赤字？黒字？

播種遅れの小麦は本当に播くべきか？

②転作作物の生産安定支援



大豆 11.9ha (事後転作6.6ha,
小麦収穫後5.0ha,
その他0.3ha)



写真

大豆生育調査



写真

(左下) 大豆収量調査

(右上) 生育調査結果説明

(右下) 大豆品質説明



▶ 対象の変化（令和3年度）

- ・ 役員が資金の動きについて理解し，作付計画策定において，経営の観点から検討するようになった
- ・ 収支を含めた単年度計画を作成し，予実管理を行うようになった
- ・ 現況に応じた農地利用計画が作成できるようになった

▶ 令和4年度に向けた課題と活動事項

- ・ 後継者確保に向けた話し合いを行い、中期経営計画を策定する
- ・ 排水対策・雑草防除を中心に技術指導を行い、大豆の高品質安定生産を支援する

令和4年度

①法人経営管理技術向上支援

1)生産計画作成支援

昨年度の作業時間分析による
大豆は種作業モデルの作成

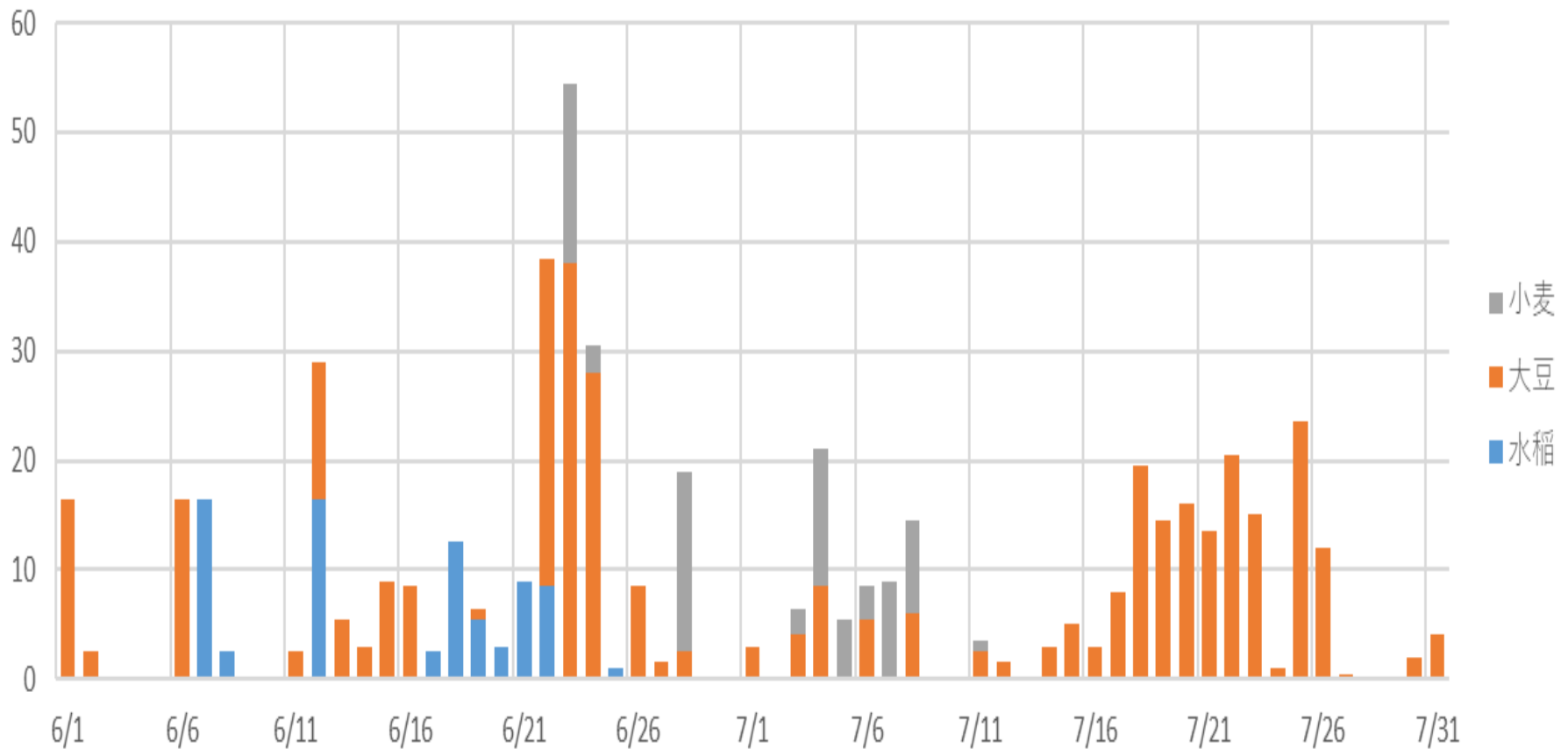
2)R 3 年度決算書の解説

3)中期経営計画策定支援



1)生産計画作成支援 昨年度の作業時間分析

おさとファーム作業時間 (R3)



【参考】播種関係作業時間の実績及び計画

	耕起	播種	播種補助	除草剤散布	除草補助	合計
R3実績 (hr/ha)	8.6	3.1	1.9	2.1	1.5	17.2
R4計画 (hr/ha)	8.5	3	2	2	1.5	17.0
※下欄は23ha分の合計	195.5	69	46	46	34.5	391

R4作業計画案

【基本の作業体系】
 前々日 2ha耕起
 播種当日 2ha播種 + 2ha除草剤

	播種面積 (ha)	作業時間 (時間)					作業時間 合計
		耕起	播種	播種補助	除草剤散布	除草補助	
5月23日		17					17
5月24日		17					17
5月25日	2	17	6	4	4	3	34
5月26日	2	17	6	4	4	3	34
5月27日	2	17	6	4	4	3	34
5月28日	2	17	6	4	4	3	34
5月29日	2	17	6	4	4	3	34
5月30日	2	17	6	4	4	3	34
5月31日	2	17	6	4	4	3	34
6月1日	2	17	6	4	4	3	34
6月2日	2	17	6	4	4	3	34
6月3日	2	8.5	6	4	4	3	25.5
6月4日	2		6	4	4	3	17
6月5日	1		3	2	2	1.5	8.5
6月6日							0
6月7日							0
6月8日							0
6月9日							0
6月10日							0
合計	23	195.5	69	46	46	34.5	391

【翌日が雨の予報の場合】
 当日の耕起を中止して、
 少し頑張って、4ha播種 + 4ha除草剤

作業時間・分担のイメージ (午前8時から午後6時まで作業する場合)

	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18
A	耕起	耕起	昼休み	耕起	その他
B	耕起	耕起	昼休み	耕起	その他
C	播種	播種	昼休み	播種	その他
D	播種補助	播種補助	昼休み	除草補助	除草補助
E	その他	その他	昼休み	除草剤散布	除草剤散布
F	耕起	耕起	昼休み	耕起	その他

※耕起18時間, 播種6時間, 播種補助4時間, 除草剤散布4時間,
 除草補助4時間, その他12時間, 計48時間

【検討・調整が必要な事項】

- ・播種期間や一日作業時間は適当か?
- ・オペレーターは何人動員できるか?
(農機毎の得意不得意も勘案)
- ・トラクターは何台稼働できるか?
- ・トラクター毎の作業能力はどうか?
- ・耕起は碎土の状況により2回目実施 (7ヶハ -0-列-)

大豆は種作業モデル

2) R 3 年度決算書の解説

* 税引前当期純利益前年比ダウン↘
 経常利益は前年比ダウン↘

解説のポイント ☆ ㊦

- 売上げについては前期に比べ増加
 麦・大豆の数量払いを獲得したことによる
- 経費(売上原価 + 販管費)は増加
- 営業外収益は、去年は補助金による機械導入を行ったので額が膨らんだが、それを除くと増加
- 残った利益については経営基盤強化準備金に繰り入れた

→ 営農の努力により役員報酬もしっかり取り、
 将来への備えも確保した。経営が順調に
 回ってきたことが決算書からも読み取れる

科 目	前 期 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比
I 売 上 高 水 上 高 転 売 上 高 価 格 補 填 取 入	(2) 100.0		100.0	
II 売 上 原 価 期 首 棚 卸 高 合 期 製 品 製 造 原 価 末 上 棚 卸 損 失				
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 管 理 費 及 び 一 般 管 理 費				
IV 當 業 外 収 益 受 取 配 当 金 入 入 一 般 助 成 取 入 入 作 業 取 成 取 入 入				
V 當 業 外 費 用 支 払 利 息 機 械 補 助 金 等				
VI 特 別 損 失 経 営 基 盤 強 化 準 備 金 繰 入 固 定 資 産 圧 縮 損 失				
VII 特 別 損 失 経 営 基 盤 強 化 準 備 金 繰 入 固 定 資 産 圧 縮 損 失				
税 引 前 当 期 純 利 益				
法 人 税 住 民 税 及 び 事 業 税				
当 期 純 利 益				

Handwritten notes on the table:
 - Point: R2とR3は974万up!
 - Point: 売上高は2,931万up
 - Point: 販管費は525万up
 - Point: 計983万up
 - Point: 営業外収益は574万up
 - Point: 機械補助金(個人)
 - Point: 経常利益は927万up
 - Point: 従前の営業利益(営業外収益)は935万の減

役員が、財務状況や利
 益構造について理解を
 深め、経営の現状を確
 認した結果、課題の
 把握や将来像について
 話し合うきっかけと
 なった。

水路に水が満たされ、水田の農作業も本格的に始まりました。天気予報に一喜一憂する日々が続くものと思います。

経営とか将来なんかは農閑期に考える・・・という考え方もあるかと思いますが、心配事が明確になれば、「いますべきこと」が見えてくるといわれます。作業の合間合間で話し合うと何か良いアイデアがでるかもしれません。

□経営承継について

経営者の仕事のひとつとして“後継者を考えること”があります。

後継者がいない場合もあります。

事業者は必ずしも「事業承継」しなければいけないものではありません。

ただ、今後、どうしていきたいか、を考える必要があるだけです。

今後のことを全く考えないと、何が起きるのか。

事業がストップしたときに、経営者と関わりのあった人に、大きな混乱を招いてしまいます。

「承継」とは？

前の代からのものを受け継ぐこと

① 人（経営）の承継

経営権

② 資産の承継

事業資産（設備・機械、農地等）

資金（運転資金・借入金等）

③ 知的財産の承継

経営理念、技術や技能、ノウハウ、
経営者の信頼、取引との人脈、顧客情報、
許認可、知的財産（ブランド、商標、商号）

①、②は時間をかけずに承継することができます。

③の技術や技能、ノウハウなどの承継には時間がかかります。

3) 中期経営計画策定支援

農業経営者向けペーパーの配付

- たとえばこんな心配事がありますか？
- 集落営農とは
- 良い企業とは
- 農作業安全
- 経営継承
- 時間管理（仕事の優先順位）



経営継承を話し合うきっかけ

共同作業していた草刈りを
構成員に委託



② 転作作物の栽培技術向上支援

1) 排水対策支援

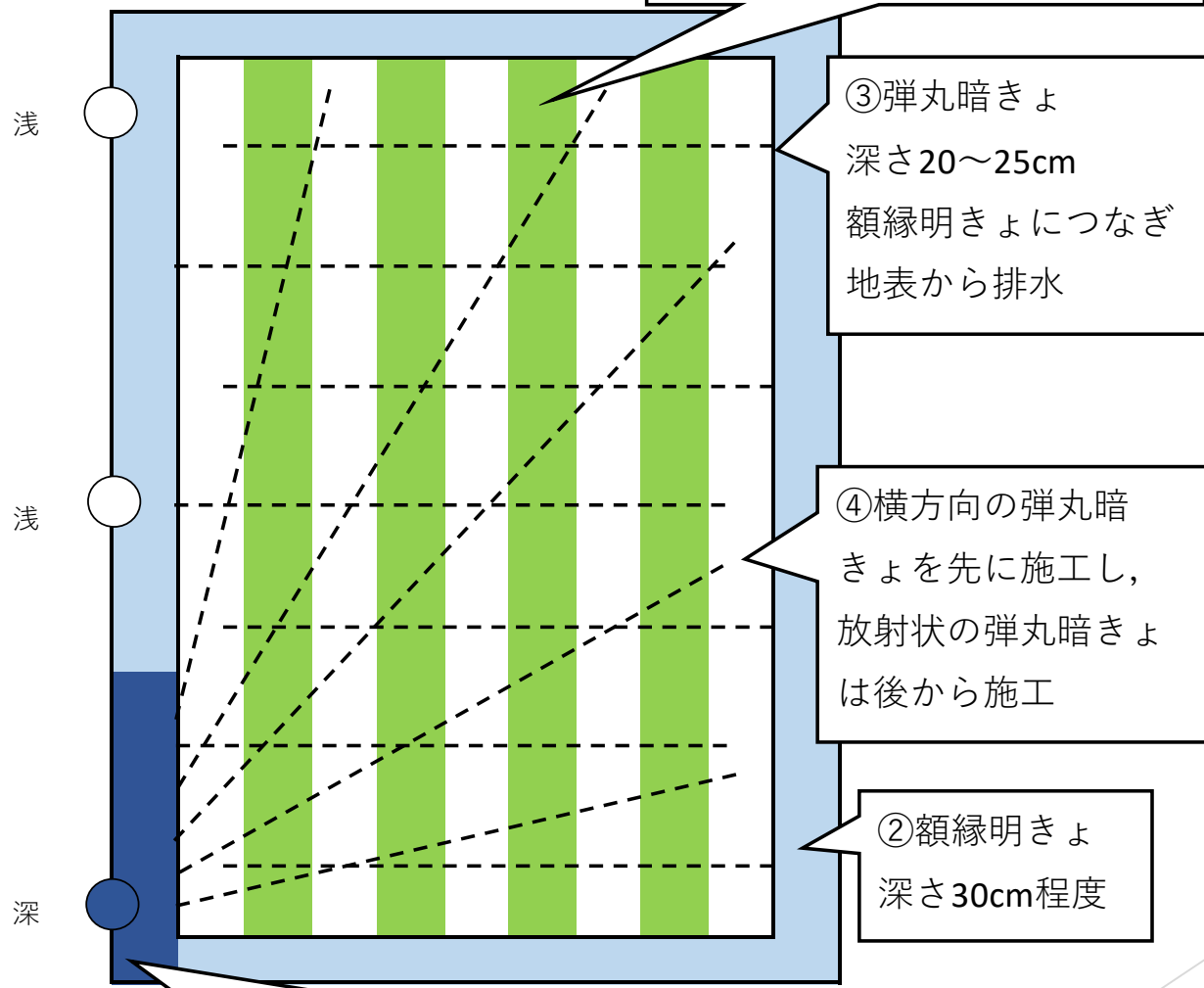


写真

排水不良による湿害 (R3)

大豆の排水対策について

【パターン1：長辺側に落水口がある場合】



弾丸暗渠、
額縁明渠の
施工方法に
ついて指導



写真
額縁明渠の施工

2) 雑草防除



写真
一部ほ場で雑草多発 (R3)



写真
役員会での雑草防除指導 (R4)

▶ 対象の変化（令和4年度）

- 役員が財務状況や利益構造について理解し、経営の現状が確認でき、課題の把握や対策、将来像について話し合うようになった。
- 段取り良く作業が行われ、効率が向上した。
- 排水対策や雑草防除などの基本的栽培技術が習得された。

▶ 今後の支援について

普及センター重点活動で対応

【地域農業担い手の経営発展に関する取り組み】

- ・ 担い手の経営管理能力向上及び事業継承支援